

事情くみシフト細分化

株式会社あっぷる (姫路市)



3人目の子どもを事業所内託児所に預けて働く施設長の寺地さん

姫路市を中心に30の やした。現在、社員は 介護施設・事業所を遠 11区分、パートは22区 営している。妻鹿明美 分まで細分化され、1 チーフに昇格。その 部長は、自身が子育て 日2時間の勤務も可能 後、会社から正社員登 と仕事の両立で苦労し だ。各施設では「子育 用を打診され、施設 たこともあり、働きや て世代」「子育てを終 長となった。利用者 すい職場づくりに努め えた世代」「中高齢世 はもちろんのこと、 てきた。「1エージェル 代」の3世代の従業員 職員への自配りを常に ープの山下裕史代表が でバランスよく構成し 欠かさない寺地さん。 思いやりと理解のある ているのも「同じ市内 「普段からコミュニケ 方だったからできた」 で小学校の子どもの行 ーションをとっている 事が重なった場合など からわずかな変化でも 気付ける。皆で助け 合える施設をさらに ます取り組んだのが にフォローできるか 目指していきたい」と話す。

勤務体制の見直し。子 5000人弱いる従業 員は8割強は女性。 シフトの勤務区分を増 「グループホーム姫路」

誰もが長く働き続けられる仕組み、風土をつくり、従業員にとつての働きがいと企業・団体にとつての成長を実現するワ
ーク・ライフ・バランス(WLB)の取り組みを広く発信する「ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰」がこのほど、神
戸市の兵庫県中央労働センターで開かれた。先進的な取り組みを行っている11の企業・団体が表彰され、特別講演では先導
的に働き方の改革を進めてきた2社からWLBの実践例が紹介された。

11企業・団体が受賞

「ひょうご仕事と生活セ 足並みをそろえ、全国に先 企業・団体に推進役を担う
ンター」は2009年の設 駆けて取り組みを進めてき たために開かれた「キーパー
立以来、県内の企業・団体 た。WLBは従業員の土気 ソン養成講座」を受けた20
におけるWLBの取り組み を高め、能力を発揮させ、 団体22人に修了証書が手渡
をサポートしてきた。その ひいては企業業績の向上に された。

結果「ひょうご仕事と生活 つながっていく。取り組み がさらに広がり、兵庫県で
の調和推進企業認定」を受 はWLBが実現している職 型勤務を通じた働き方改革
けた企業・団体は98、「ひ 場がスタンダードになるよ と健康経営」、日本航空の
ょうご仕事と生活の調和推 うに期待している」と述べ 植田英嗣氏が「多様な人材
進企業宣言」を行った企業 た。 の活躍推進とワークスタイ
・団体は13288に上つて いた。 ル変革について」のテーマ
いる。 表彰式では、受賞した11 でWLB推進の自社の取り
冒頭、あいさつに立った 企業・団体に表彰状と記念 組みを紹介した。

金澤和夫・兵庫県副知事は 品が贈呈された。続いて、 WLBの推進に当たり、各



金澤副知事から表彰を受ける受賞団体代表者ら＝神戸市中央区、県中央労働センター